

第1 基本的事項

1 作成の趣旨

- 平成20年3月に策定した北海道医療計画（以下、「道計画」という。）においては、計画の中核をなす疾病・事業それぞれの医療連携体制の構築とその推進について、地域単位で保健所が市町村、医療機関、関係団体、道民等と共に取り組む必要があることから、道計画の策定に合わせ、第二次医療圏の中心となる保健所において、地域の実情に応じた医療連携体制を構築し、円滑に推進するための方針として、圏域ごとに「地域推進方針」を作成し、また、道計画を25年3月に一部改訂したことにより、地域推進方針についても、25年度に見直しを行っています。
- 現行の「地域推進方針」の期間は、道計画と同様におおむね5年間としていることから、平成30年度を始期とする新たな道計画の策定と合わせ、第二次医療圏ごとに設置している保健医療福祉圏域連携推進会議において、現行の地域推進方針における目標の達成状況や施策の進捗状況の評価などを行い、5疾病・5事業及び在宅医療それぞれに係る医療連携体制を構築し、円滑な推進を図るため、遠紋圏域における地域推進方針を作成することとしました。

2 計画の名称

- 第二次医療圏の名称を冠し、「北海道医療計画遠紋地域推進方針」とする。

3 地域推進方針の期間

- 北海道医療計画に合わせ、平成30年度から平成35年度までの6年間とします。

4 地域の現況

（1）地勢と交通

ア 地理・地勢

遠紋圏域は、紋別市、佐呂間町、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町、の1市6町1村で構成されています。

圏域の西部は山間部で南北に北見山地、北東部はオホーツク海に105.6kmの海岸線で接しています。

総面積は5,148.25km²で、愛知県（5,172.92km²：全国27位）や千葉県（5,157.61km²：全国28位）に匹敵する面積を有しており、全国最小の香川県（1,876.77km²）の約2.7倍となっています。【平成29年10月1日国土地理院公表値】

また、地域の西端部には北海道で最大、日本でも琵琶湖、霞ヶ浦に次ぎ三番目の大きさを誇るサロマ湖があります。

気候はオホーツク海の影響を受け、1月から3月頃にかけて流氷におおわれ、夜間の冷え込みも一段と強くなり、内陸部では氷点下30度以下の厳しい寒さとなるところがあります。

5月頃になると湿度の低い空気の乾燥する時期となり、また、この時期はフェーン現象が発生しやすく、林野火災の危険時期となります。

夏季も他地域に比べて冷涼ですが、南西から西風になると山越えのフェーン現象があり、30度を超える「真夏日」も数日観測され本州並みの暑さとなることがあります。

また、降水量は全国的に最も少ない地域となっています。

イ 交通機関の状況

管内での主要交通手段は車両ですが、紋別市にあるオホーツク紋別空港からは、航空機が羽田空港まで運航しており、長距離バスとともに住民の足を確保しています。

しかしながら、札幌から紋別の航空機については現在のところ新千歳発着便が平成23年から休止中であり、また、JR線も平成元年5月1日に名寄線が廃止されたことにより、紋別市から鉄道が消え、現在は遠軽町にJR石北線が運行しているだけになっています。

都市部との連絡網を整備する上で、現在、遠軽町瀬戸瀬まで開通している旭川紋別自動車道の早期完成が望まれています。

ウ 生活圏

遠紋圏域の基幹的道路は、5本の各基幹国道を中心に主要道道及び市町道が交差しており、それぞれ生産生活物資の流通、教育及び厚生など地域内外との密接な依存関係を確認し、経済的、社会的活動を維持しています。

特に紋別市は重要港湾、空港を擁し西紋地域の中核都市としての機能を備え、周辺町村との有機的連携を保っています。また、遠軽町は東紋地域の中心として鉄道など交通機関の要衝にあり、商業的機能を発揮し、周辺町村の物資流通の中心となっています。

エ 医療圏

当圏域は遠軽町を中心とした東紋地域（遠軽町、佐呂間町、湧別町）と紋別市を中心とした西紋地域（紋別市、滝上町、興部町、西興部村、雄武町）に二分されています。

面積は東紋地域2,243.18km²、西紋地域2,905.07km²、人口は東紋地域34,306人、西紋地域34,112人と、いずれもほぼ拮抗しています。

【面積：平成29年10月1日国土地理院公表値 人口：平成29年12月末現在住民基本台帳】

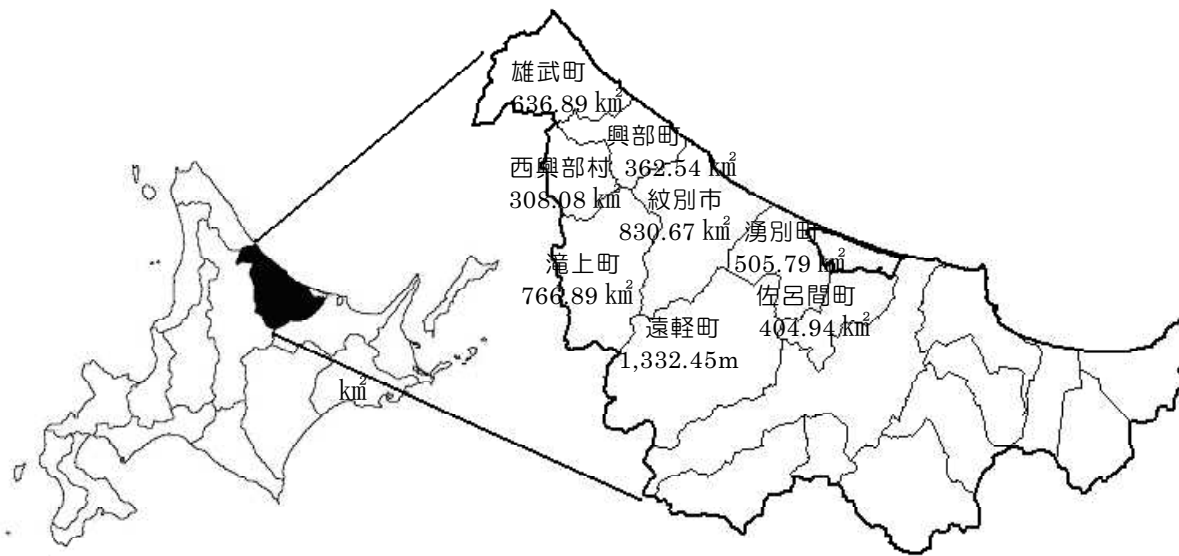
東紋地域は遠軽厚生病院を地域センター病院として、まるせっぷ厚生クリニック、ゆうゆう厚生クリニックなど公的医療機関である北海道厚生農業協同組合連合会（JA北海道厚生連）の医療機関の他、民間の医療機関がある地域となっています。【5病院、18診療所（うち福祉施設内医務室5）】

一方、西紋地域は地域センター病院として広域紋別病院があり、雄武、興部、滝上町には各国民健康保険病院（国保病院）が、西興部村には国民健康保険診療所（国保診療所）があり、いわゆる自治体病院と民間の医療機関がある地域となっています。

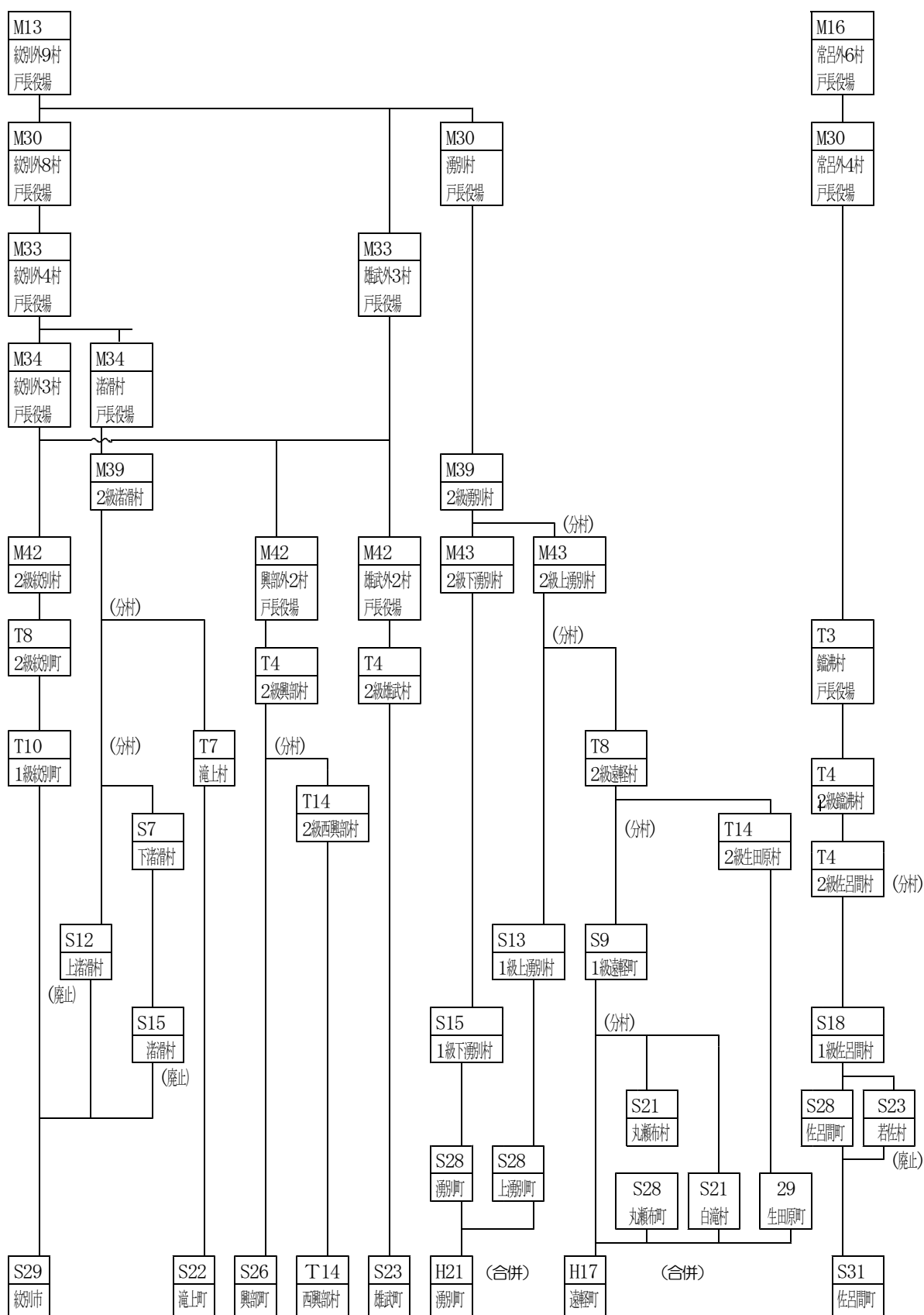
【7病院、15診療所（うち福祉施設内医務室6）】

病床数は東紋地域692床、西紋地域509床、合計1,201床となっています。

【平成30年5月現在：病床数は病院の一般・療養及び診療所の療養病床の合計】



才 市町村の沿革



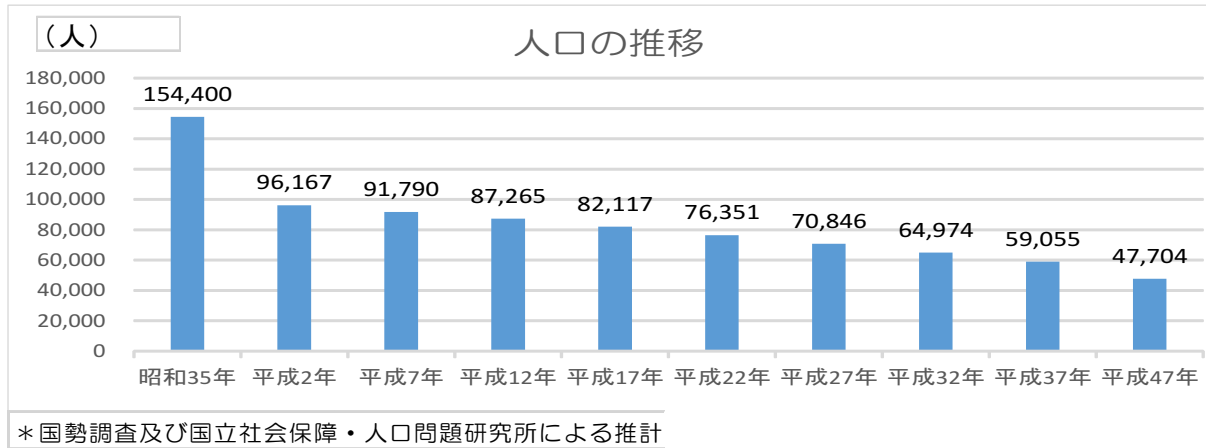
(2) 人口の推移

ア 人口構造

(ア) 人口

遠紋地域の人口は昭和35年の154,400人をピークに減少傾向が続いており、平成27年の国勢調査では70,846人となりました。

国立社会保障・人口問題研究所による推計（平成30年3月推計）では、平成37年には59,055人とピーク時の40.0%と半分を下回り、さらに平成47年に47,704人と予想されています。

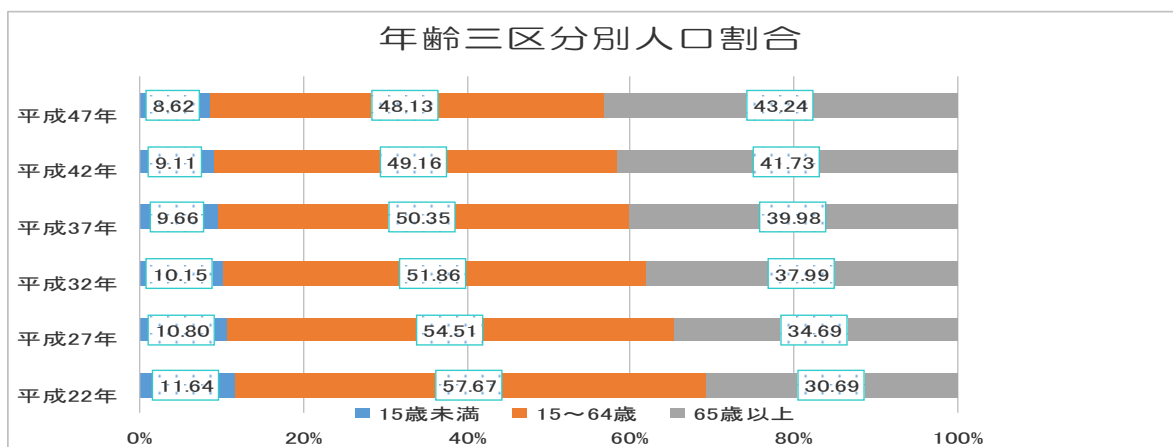


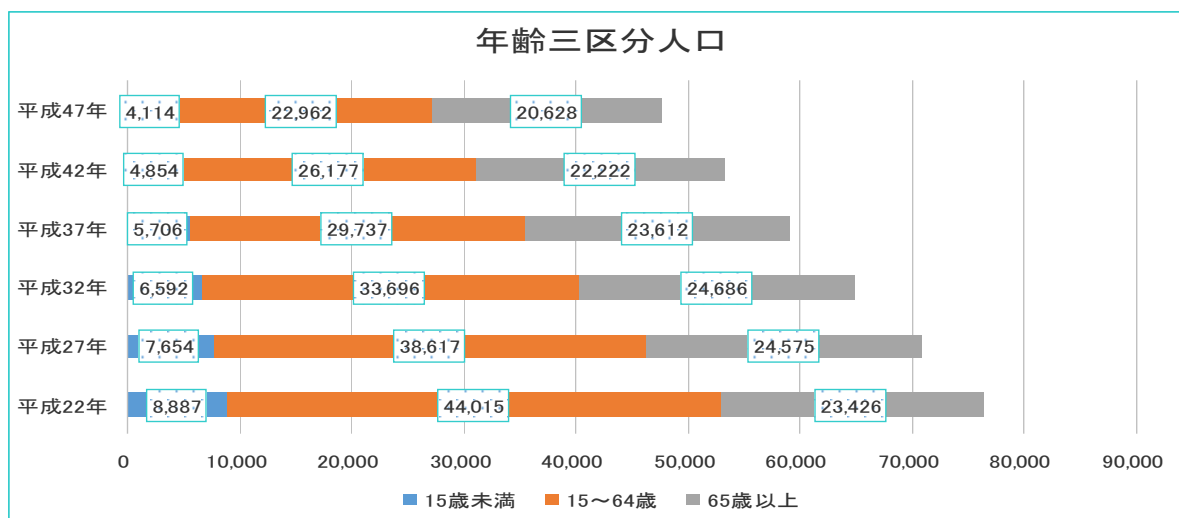
(イ) 年齢区分別構成割合及び人口

平成27年の国勢調査では高齢化率は34.7%となっており、全道平均の29.0%を上回っています。国立社会保障・人口問題研究所による推計（平成30年3月推計）では、団塊の世代が後期高齢者（80歳到達）になる平成37年には高齢化率は40.0%と予想されています。

総人口数が減少する中でも、高齢化率が高率になるため、高齢者人口は増加します。

ピークは団塊の世代が後期高齢者となる平成32年頃で、それ以降は減少が予想され、生産年齢人口、年少人口は減少します。





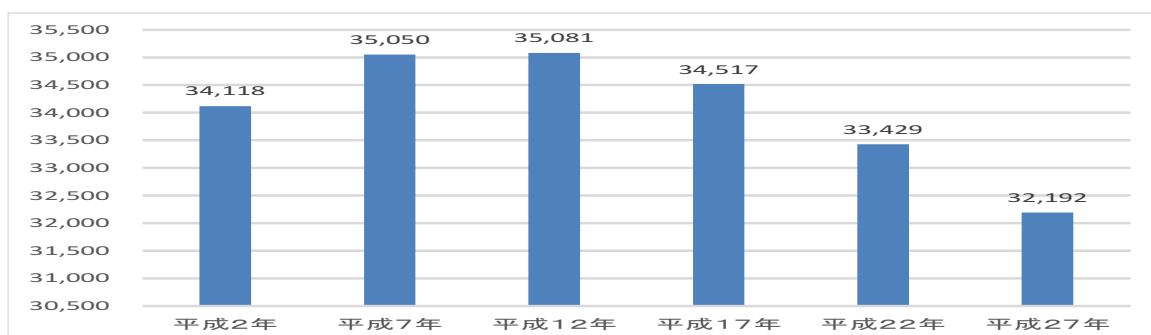
* 国勢調査及び社会保障・人口問題研究所による推計

(ウ) 世帯数

圏域の世帯数は、人口と同じように漸減傾向にあります。平成12年国勢調査の35,081世帯以降は、減少傾向が続き、平成27年の国勢調査では、32,192世帯（△8.2%）となっています。

(世帯)

世帯数の推移



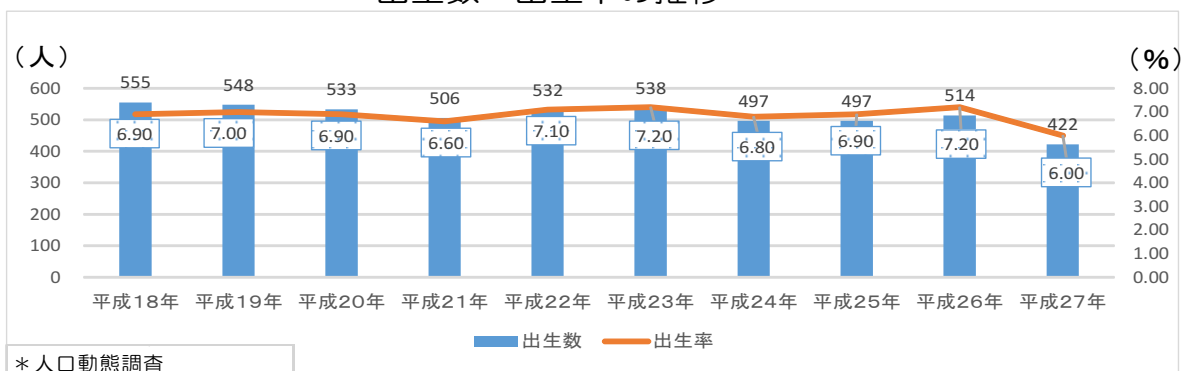
* 国勢調査

イ 人口動態

(ア) 出生数

出生数はここ10年では増減がありますが、傾向的には低下傾向にあります。500人台で推移していましたが、平成27年は500人を大きく割り込みました。

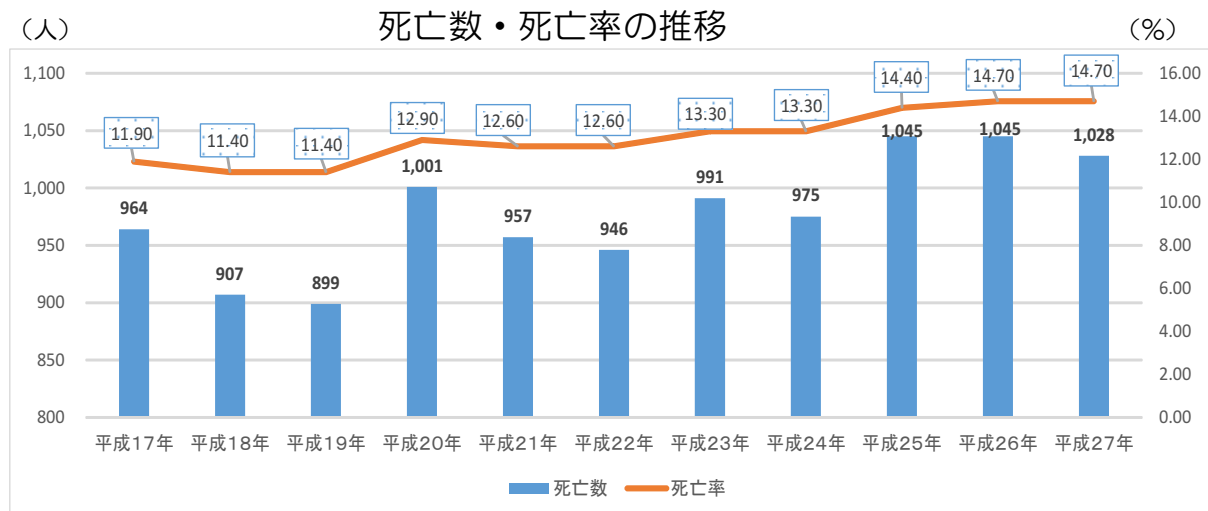
出生数・出生率の推移



* 人口動態調査

(イ) 死亡数

死亡数はここ10年では増減がありますが、800人から1,000人台で推移しており、傾向的には増加傾向にあります。

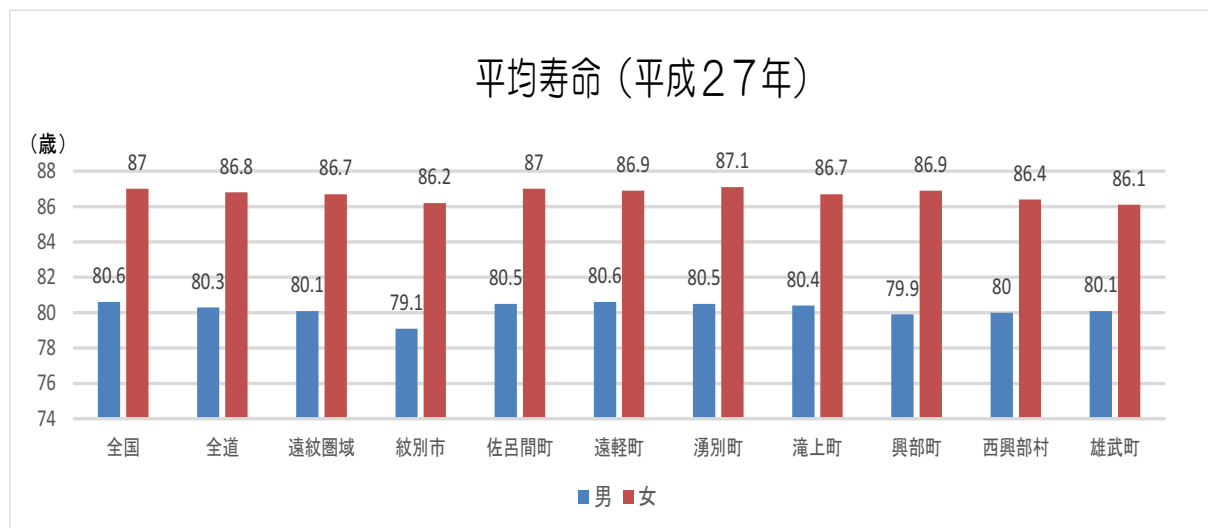


*人口動態調査

(ウ) 平均寿命

遠紋圏域の平成27年の平均寿命（厚生労働省算定プログラムによる算定による）は、男性80.1歳、女性86.5歳となっており、全国、全道平均と比較し男性、女性ともに若干下回っています。

市町村では、紋別市が全国、全道平均を男性1歳、女性0.5歳と下回っていますが、佐呂間町が男性、女性ともに、湧別町では女性が全国平均を上回っています。



*厚生労働省市区町村別生命表（平成27年）

(3) 患者の受療動向

平成27年4月～平成28年3月までの国民健康保険、退職者国保、後期高齢者医療制度に係る電子レセプトデータの分析によると、遠紋圏域の入院医療に係る受療動向では、圏域全体の自給率は76.0%となっており、圏域以外では、北見市、札幌市、旭川市など医療施設が整備された都市部に流出しています。

市町村別では、比較的医療機関が集中している遠軽町の自給率が76.9%と高くなっていますが、その他の市町村においては、圏域内の紋別市や遠軽町その他、圏域外の名寄市、北見市、旭川市などへ流出しています。

また、通院は、入院よりは自給率が高くなっており、遠紋圏域全体の自給率は、87.4%となっていますが、流出の傾向は同様で、少子高齢化の状況を踏まえると、移動手段が限られる高齢者への対応が重要になります。

第二次医療圏（遠紋圏域）の入院及び外来自給率表

入院

患者居住圏域	圏域内自給率	流出先圏域の構成比				
遠紋圏域	76.09%	北網(13.30%)	上川中部(7.85%)	札幌(1.71%)		その他(1.05%)
紋別市	70.43%	遠軽(9.74%)	旭川(8.49%)	北網(7.60%)		その他(3.74%)
佐呂間町	10.19%	遠軽(33.00%)	北網(56.18%)			その他(0.63%)
遠軽町	76.90%	北網(13.72%)	旭川(7.31%)			その他(2.07%)
湧別町	19.86%	遠軽(59.43%)	北網(14.37%)	旭川(5.13%)		その他(1.21%)
滝上町	56.29%	旭川(25.99%)	紋別(11.33%)	遠軽(6.39%)		
興部町	58.77%	紋別(17.22%)	旭川(8.77%)	名寄(7.27%)	遠軽(6.13%)	
西興部村	—					
雄武町	38.07%	名寄(18.36%)	遠軽(15.39%)	紋別(15.11%)	旭川(10.46%)	その他(2.61%)
全道	90.00%					

外来

患者居住圏域	圏域内自給率	流出先圏域の構成比				
遠紋圏域	87.40%	北網(8.00%)	上川中部(2.27%)	札幌(1.31%)		その他(1.02%)
紋別市	79.92%	遠軽(11.96%)	北網(3.20%)			その他(4.92%)
佐呂間町	34.84%	北網(40.51%)	遠軽(22.39%)			その他(2.26%)
遠軽町	88.75%	北網(7.19%)	旭川(1.81%)			その他(2.25%)
湧別町	39.80%	遠軽(47.60%)	北網(9.20%)	旭川(1.65%)		その他(1.75%)
滝上町	61.13%	紋別(19.53%)	遠軽(9.11%)	旭川(7.65%)		その他(2.58%)
興部町	63.80%	紋別(18.25%)	遠軽(7.75%)	名寄(5.44%)		その他(4.76%)
西興部村	—					
雄武町	75.46%	紋別(8.19%)	名寄(7.66%)	遠軽(3.77%)	旭川(2.59%)	その他(2.33%)
全道	96.15%					

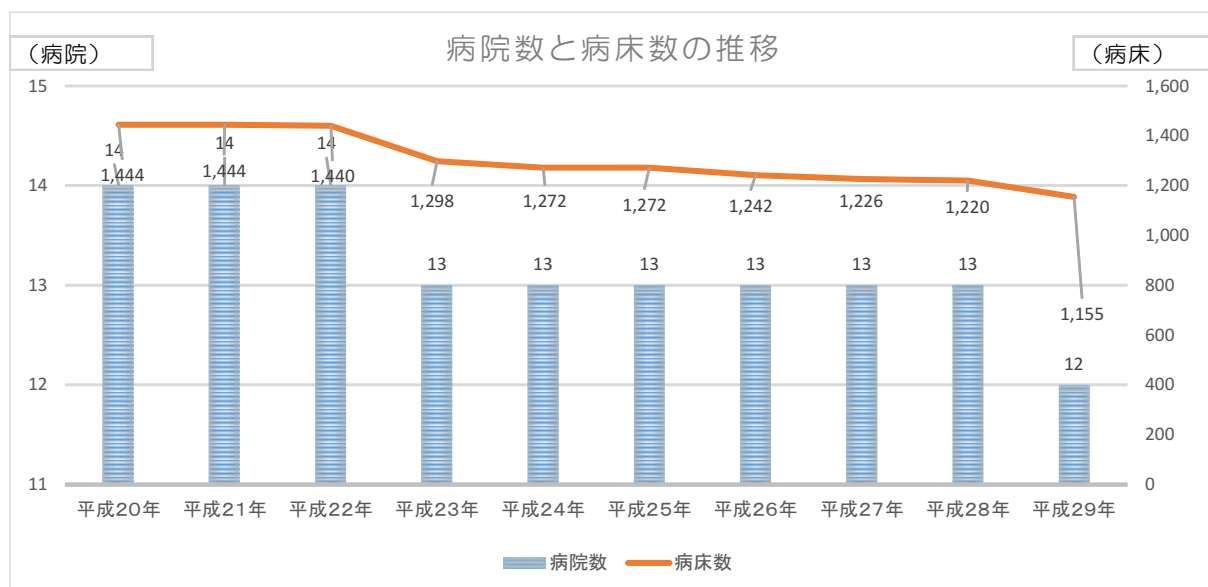
*平成27年4月～平成28年3月の国民健康保険、退職者国保、後期高齢者医療制度レセプトデータ
ただし、人口2,000人未満の市町村データは表示されない。

(4) 医療施設

ア 病院数

圏域の病院数は、平成29年 10月現在で12か所となっています。

病床数は1,155と平成23年以降、年々減少しています。

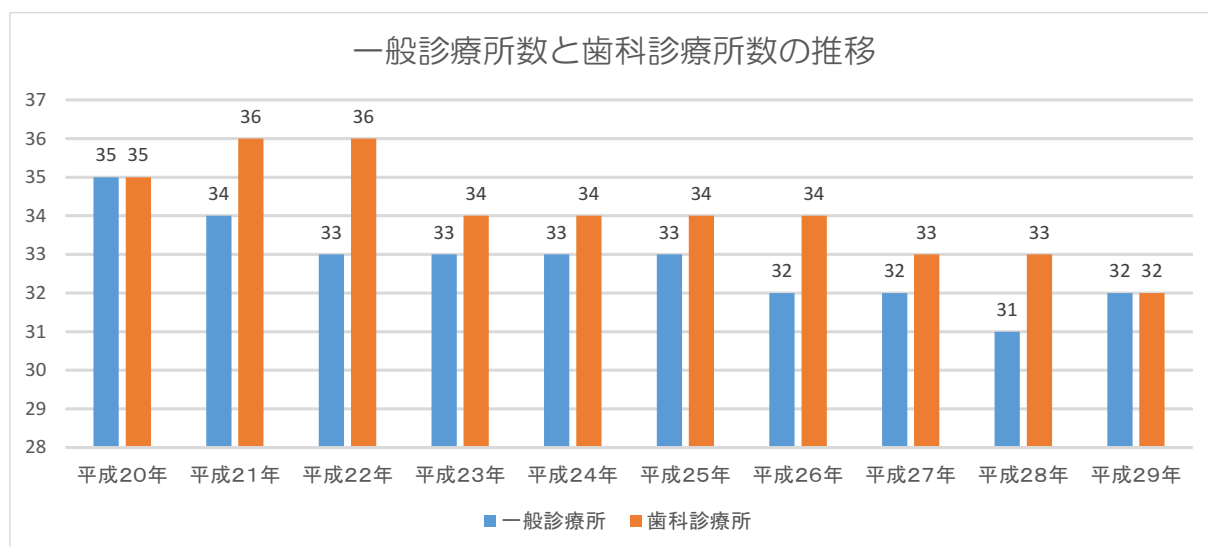


*北海道保健統計年報

イ 診療所数

圏域の一般診療所数は、平成29年10月現在で無床有床合わせて32か所となっており、傾向としては横ばい傾向にあります。

圏域の歯科診療所数は、平成29年10月現在で無床有床合わせて32か所となっており、傾向としては横ばい傾向にあります。



*北海道保健統計年報

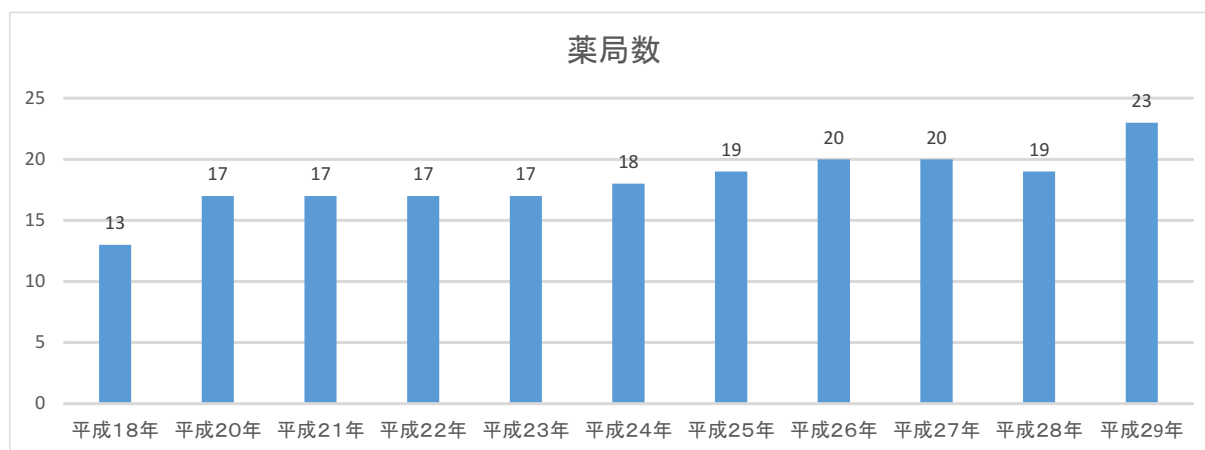
ウ 助産所数

助産所は圏域内にはありません。

エ 薬局数

調剤を実施する薬局は、平成18年6月に成立した「良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律」により、医療を提供する施設として位置づけられました。

薬局数は、平成30年3月末現在で23となっています。



オ 訪問看護ステーション数

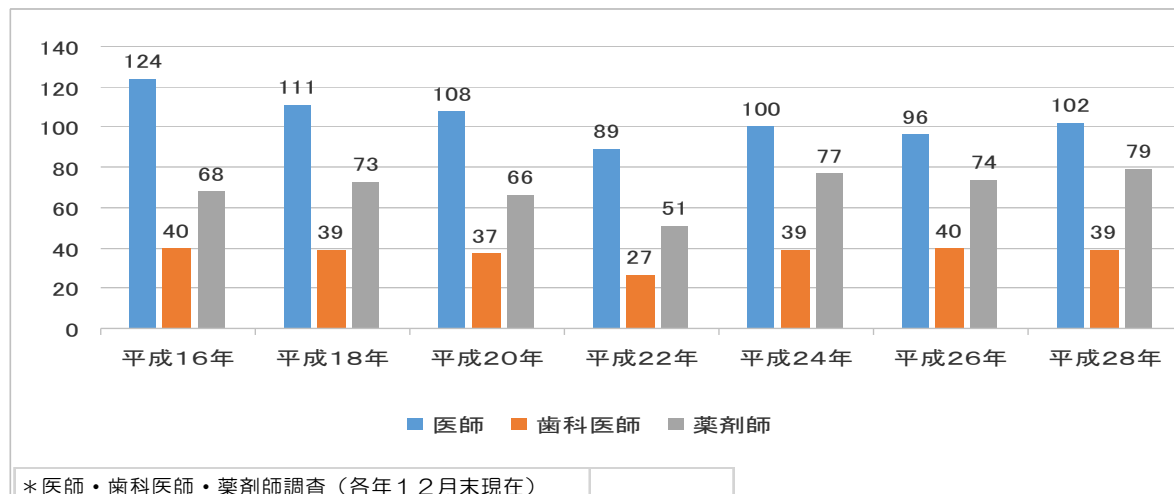
訪問看護ステーションは、圏域内に3か所あります。

(5) 医療従事者の年次推移

ア 医師、歯科医師、薬剤師の状況

平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査では、平成22年と比べ医師は89人から、102人（14.6%増）、歯科医師は27人から39人（44.4%増）、薬剤師は51人から79人（54.9%増加）となっており、それぞれ増加しております。

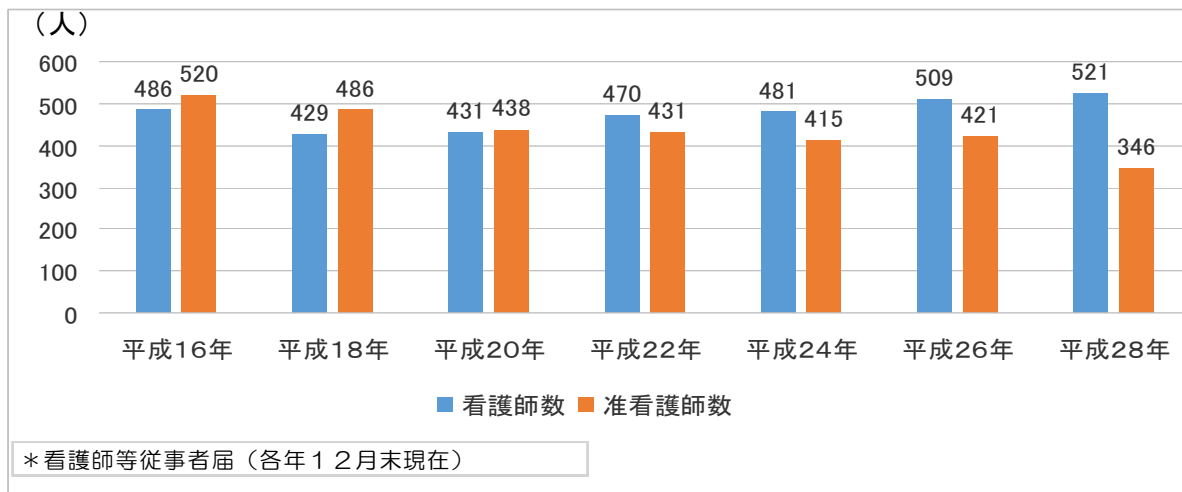
(人) 医師・歯科医師・薬剤師の状況



イ 看護師・准看護師の状況

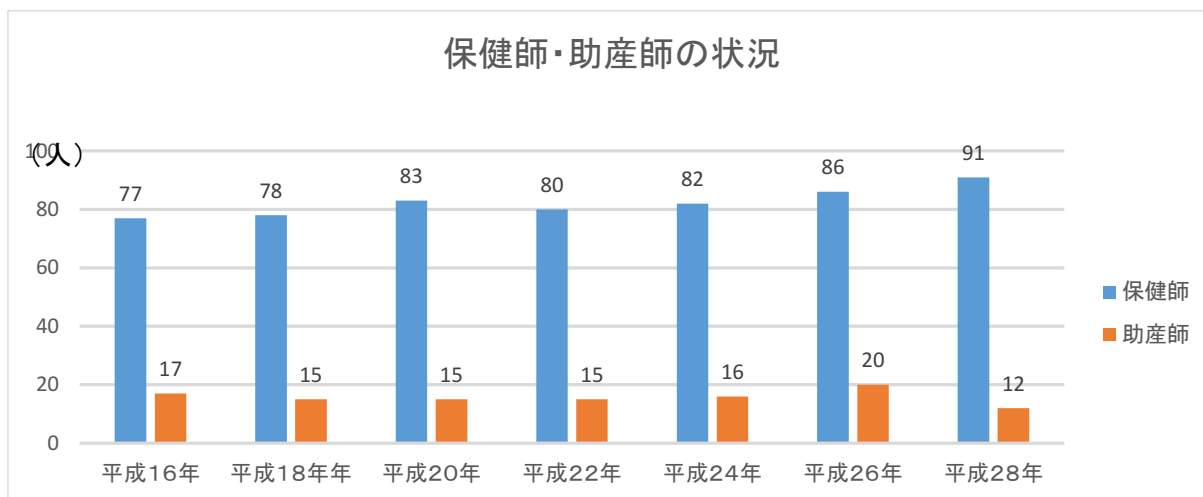
平成28年看護師等業務従事者届では、平成22年と比べ看護師は470人から521人（10.9%増）、准看護師は431人から346人（19.7%減）となっており、看護職全体としては横ばい傾向です。

看護師・准看護師の状況



ウ 保健師、助産師の状況

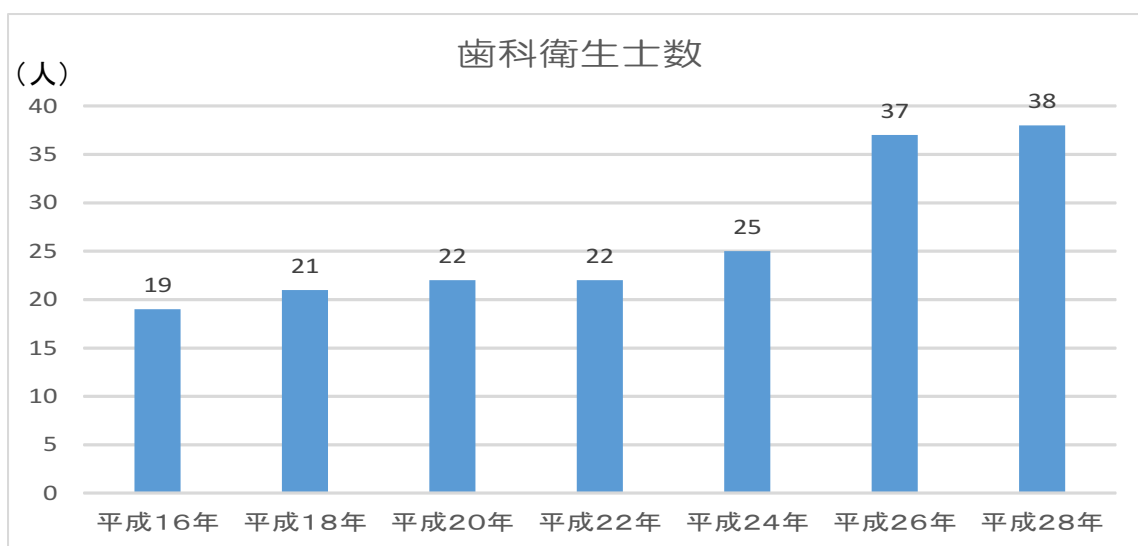
平成28年看護師等業務従事者届では、平成22年と比べ保健師は80人から91人と（13.8%増）、助産師は15人から12人と（20.0%減）となっており、保健師は増加傾向にありますが、助産師は減少傾向にあります。



* 看護師等従事者届（各年12月末現在）

エ 歯科衛生士の状況

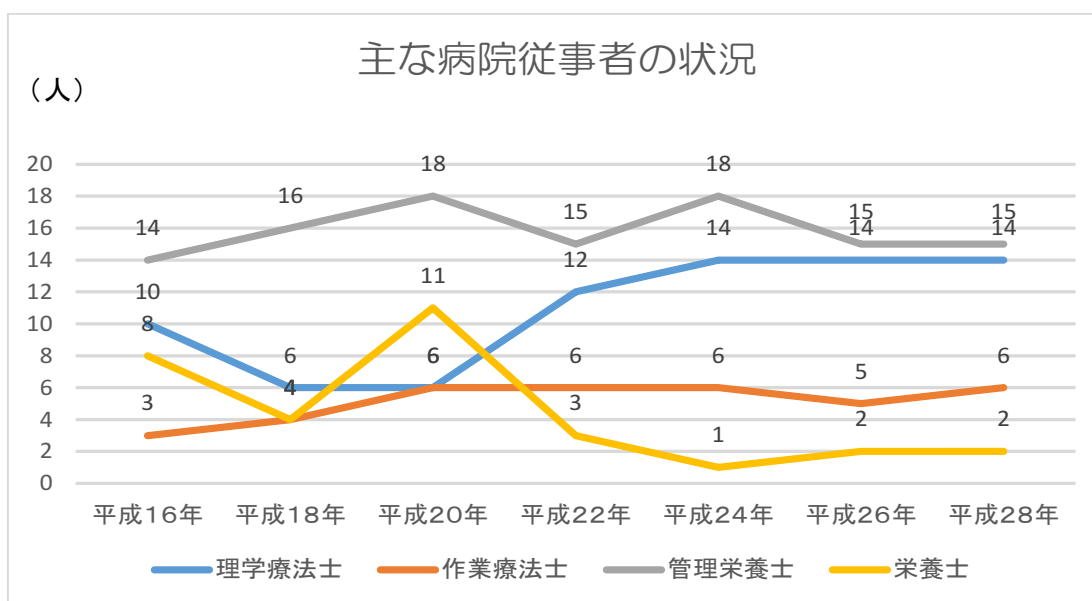
平成28年度の歯科衛生士等従事者届では、38人となっており、平成22年度の22人から大きく増加しています。



*歯科衛生士等業務従事者届

オ 主な病院従事者の状況

平成28年病院報告では、平成22年に比べ理学療法士は12人から14人と増加、作業療法士は6人から6人と横ばい、管理栄養士も15人から15人と横ばいで推移していますが、栄養士は3人から2人と減少しています。



*病院報告（各年10月末現在）